

### 3 エリア構想

#### 「京都スタジアムを中核とするスポーツ&ウェルネス構想」

##### ■京都スタジアムを核とした元気あふれる交流都市圏の形成

「京都スタジアム」の完成を契機に、大学や京都トレーニングセンター、府内スポーツ施設の連携を進め、丹波高原や桂川・由良川もフィールドとして活用しながら、内外から人が集まる日本有数のスポーツ・健康エリアとして、食やスポーツ科学と連携した地域づくりを進めます。

##### 【主要な取組】

- トップアスリートの育成とスポーツのメッカづくり
- スポーツ、食や癒しによる健康づくりの先進モデル地域づくり



#### 京都府総合計画の構成

|        |   |
|--------|---|
| 将来構想   | 概ね20年後の令和22(2040)年を展望し、実現したい京都府の将来像を示しています。   |
| 基本計画   | 「府民協働で取り組むきょうとチャレンジ」、地域に着目した「エリア構想」、全体を分野別に体系化した「分野別基本施策」の3つの視点で構成され、概ね4年間の取組を示しています。 |
| 地域振興計画 | 山城・南丹・中丹・丹後の各地域の資源や特性を生かした地域振興策を示しています。   |

発行：京都府南丹広域振興局 企画総務部 企画振興室  
 住所：〒621-0851 京都府亀岡市荒塚町1丁目4-1  
 電話：0771-24-8430  
 F A X：0771-24-4683  
 E-mail：nanshin-ki-kikaku@pref.kyoto.lg.jp  
 U R L：http://www.pref.kyoto.jp/nantan/ki-kikaku/chiikishinkoukeikaku.html  
 ※新京都丹波ビジョンの本文は、WEBでご覧いただけます



令和元(2019)年10月発行



「京都府総合計画」南丹地域振興計画

## 新京都丹波ビジョン【概要版】

来てよし・観てよし・住んでよし

交流人口・関係人口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波



京都府南丹広域振興局

# 1 地域の将来像(概ね20年後に実現したい姿)

～来てよし・観てよし・住んでよし

交流人口・関係人口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波～

- ◆京都スタジアムを核に交流人口・関係人口が拡大し、賑わいが創出されている地域
- ◆食、自然・歴史文化、スポーツなどの京都丹波の強みを生かして、誰もが健康で生き生きと、安心・安全に暮らしている地域
- ◆「森の京都・京都丹波ライフスタイル」が浸透し、若者の定着が進んでいる地域

## 京都丹波とは

2市1町(亀岡市・南丹市・京丹波町)のエリアを指す名称です。



# 2 施策の基本方向(概ね4年間の対応方向)

- 【基本的な視点】 ◆京都丹波の強みである「食」、「自然・歴史文化」、「スポーツ」を生かし、オール京都丹波で地域活性化と交流拡大を推進します。  
◆人権が尊重され、誰もがその能力を発揮でき、住み続けたいと実感できる共生社会を構築します。

### 強みを生かした「横断プロジェクト」

地域住民や市町、NPO等地域活動団体、企業、有識者等の参画により、オール京都丹波で施策を展開

〈京都丹波の強み〉

**【食】**

米、豆、野菜、畜産を中心とした府内有数の産地

- ・丹波産キヌヒカリが3年連続「特A」を獲得
- ・京のブランド産品(農産物)出荷額が府全体の44%
- ・畜産物の産出額(推計)が府全体の38%

プロジェクト

**【自然・歴史文化】**

広大な森林、府内で最も林業が盛ん

- ・管内総面積に占める森林面積の割合が82.6%
- ・年間木材生産量が59,663m<sup>3</sup>

名所・旧跡、景観や行事・伝統芸能

- ・京都丹波高原、西の鯖街道、琴滝、保津峡など
- ・亀岡祭山鉾行事、田原の御田、和知人形浄瑠璃 など

プロジェクト

**【スポーツ】**

自然環境を生かしたアウトドアスポーツや全国規模のスポーツ大会

- ・パラグライダー、ラフティング、サイクリングなど
- ・京都亀岡ハーフマラソン、京都丹波トライアスロン大会in南丹、京都丹波ロードレース大会 など

プロジェクト

## 1 京都丹波の地域資源を生かした交流・活力のまちづくり

**ア 豊かな自然・歴史文化や食、木材など京都丹波ブランドの更なる魅力発信**

- ▶ 京都丹波を体感できる施設や店舗、ツアー等の登録と統一マークを使ったブランド発信
- ▶ スポーツで身体を鍛え、食を味わい、自然・歴史文化を学ぶ「京都丹波まるごと体感ツアー」による「京都丹波ファン」の獲得
- ▶ インスタグラムやフェイスブックなどSNSを活用した京都丹波の魅力発信

**イ 京都スタジアムを核にしたまちの賑わいづくり、スポーツ観光の推進**

- ▶ 大河ドラマを契機とした光秀ゆかりの城めぐりなど、テーマ性を持った広域観光の推進
- ▶ 京都市内の観光スポット等で京都丹波の魅力がPRし、誘客を促進
- ▶ アウトドアスポーツと、食や歴史文化等を組み合わせた「スポーツ観光」の推進


## 2 人権が尊重され、希望を持って元気に暮らせる地域づくり

**ア 女性や高齢者、障害者等誰もが生き生きと暮らせる地域づくり**

- ▶ 「アール・ブリュット」の創作・発表の場の提供を通じた、障害者の文化芸術の振興
- ▶ 「京都丹波美術工芸教育展」などによる校区や校種、年齢を超えた交流を行うことにより次世代の地域づくりの担い手育成

**イ スポーツ資源等を生かした健康長寿の地域づくり**

- ▶ トップ・アスリートの発掘・育成や、あらゆる世代が気軽に参加できる総合型地域スポーツクラブの取組支援
- ▶ 「森のウォーキングコース」や「なんたん元気づくり体操」の普及による健康づくりの推進



森の京都健康ウォーキング

## 3 明日の京都丹波産業を担う人づくり

**ア 教育機関や地元企業、関係団体等と連携・協働した人材育成・確保**


- ▶ 林業大学校と連携した林業の担い手育成、若手畜産農家を対象とした経営研修等による畜産業の人材育成

**イ 特色ある高等教育機関の集積や立地条件を生かした商工業振興**

- ▶ 企業と京都先端科学大学等との産学公連携による研究開発の支援

**ウ 京都丹波ブランドを支える特産農産物等の生産拡大・品質向上**

- ▶ キヌヒカリや黒大豆等の生産拡大・品質向上、スマート農業の実証による農作業の省力化



畜産担い手のステップアップ研修

## 4 オール京都丹波による移住・定住プロジェクトの推進

**ア 「森の京都・京都丹波ライフスタイル」の発信**

- ▶ ①オール京都丹波による移住・定住の取組を推進します
- ▶ 移住支援に積極的に取り組む「京都丹波Uターン応援隊企業」の登録と情報発信
- ▶ 30歳代でUターンを考えている人を対象とした交流会・相談会の開催
- ▶ 子どものうちから地域の自然・歴史文化を学ぶ機会をつくり、郷土愛を醸成

**②「子育て環境日本一」の京都丹波を実現します**

- ▶ 京都丹波全体で子育て文化を推進する協議会を設置し、子育てしやすい地域と実感できる取組の推進
- ▶ 子育てに優しい職場づくりの支援や、子育て支援に積極的に取り組む「京都丹波子育て応援隊企業」の周知
- ▶ 小中高生が乳幼児とふれあい、ライフデザインを考える機会となる学習プログラムの普及

## 5 交流と安心・安全の基盤づくり

**ア 京都縦貫自動車道からのアクセス道路の整備促進**


- ▶ 国道423号(法貴バイパス)の整備や、京都市と亀岡市を結ぶバイパス等のネットワーク強化の促進

**イ 桂川等の河川整備など災害対策の推進**

- ▶ 「桂川上流圏域河川整備計画」に基づき、治水安全度の向上に向けた河川整備の推進

**ウ 暮らしの安心まちづくりの推進**

- ▶ 豚コレラや高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病に対する備えの強化や地域ぐるみの有害鳥獣対策の推進



国道423号(法貴バイパス)